

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会(第15回)

日時：平成31年1月30日(水) 13:30～16:30

場所：KKRホテル名古屋 芙蓉の間

会 議 次 第

1 開会

2 あいさつ

3 報告

4 議事

- ・第14回天守閣部会における主な指摘事項と対応状況について [資料-1]
- ・金鯨について[資料-2]
- ・左官について[資料-3]

5 その他

6 閉会

特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 天守閣部会（第15回） 名簿

日時：平成31年1月30日（水）13:30～16:30

場所：KKRホテル名古屋 芙蓉の間

（敬称略）

■構成員

氏名	専門分野	所属等	出欠
小野 徹郎	建築学	名古屋工業大学名誉教授	出席
川地 正数	建築生産	川地建築設計室主宰	出席
瀬口 哲夫	近代建築史、まちづくり	名古屋市立大学名誉教授	出席
西形 達明	地盤工学	関西大学名誉教授	出席
麓 和善	建築史、文化財保存修理	名古屋工業大学大学院教授	出席
古阪 秀三	建築生産	立命館大学客員教授	出席
三浦 正幸	日本建築史、文化財学	広島大学名誉教授	出席

・オブザーバー

氏名	所属等	出欠
洲崎 和宏	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室室長補佐	出席





## 天守台石垣調査についての課題と対応

### <経緯>

- ・天守台石垣については、現況を調査し、それに基づいて保存方針を策定し、文化庁に提出することとしている。
- ・昨年 9 月までに天守台石垣の保存方針の案を作成したが、石垣部会の了解を得られておらず、文化庁へ提出できていない。

### <課題>

- ・天守台石垣の調査により、石垣が危険な状態であることが明らかになってきたが、まだ調査結果の分析が、部会で十分検討できていない。
- ・上記の分析を踏まえた、石垣に対する具体的な対応が決まっていない。
- ・天守台石垣の本質的価値を明らかにするための、歴史資料の分析・検討が不十分である。

### <対応>

- ・文化財石垣保存技術協議会評議員のコンサルタントから助言を得ながら、天守台石垣の保存についての検討を進める。
- ・早急に天守台石垣保存の指針を定め、石垣部会の了解を得る。
- ・指針に基づき、調査結果の分析を進めるとともに、歴史資料の分析を進める。
- ・上記の分析を踏まえ、石垣部会に諮りながら保存方針を定めていく。

■前回(第14回)天守閣部会での説明内容の一部抜粋  
大天守初重及び小天守の粘土瓦葺部分の復元案について

- 想定される不具合と対策
- 瓦の隙間から雨水が侵入した場合、土居葺きの表面を流れ、軒先に溜り、軒廻り材を内側から腐朽させることや、軒先を塗りこめた漆喰の剥落が想定される。
- ⇒軒先 : 銅板を挿入し軒平唐草と敷平に挟み込み、排水ルートを確認する。
- 屋根・外壁取合い部 : 同じく銅板を挿入し、クランク等から雨水が侵入した場合、土居葺面に導くようにする。

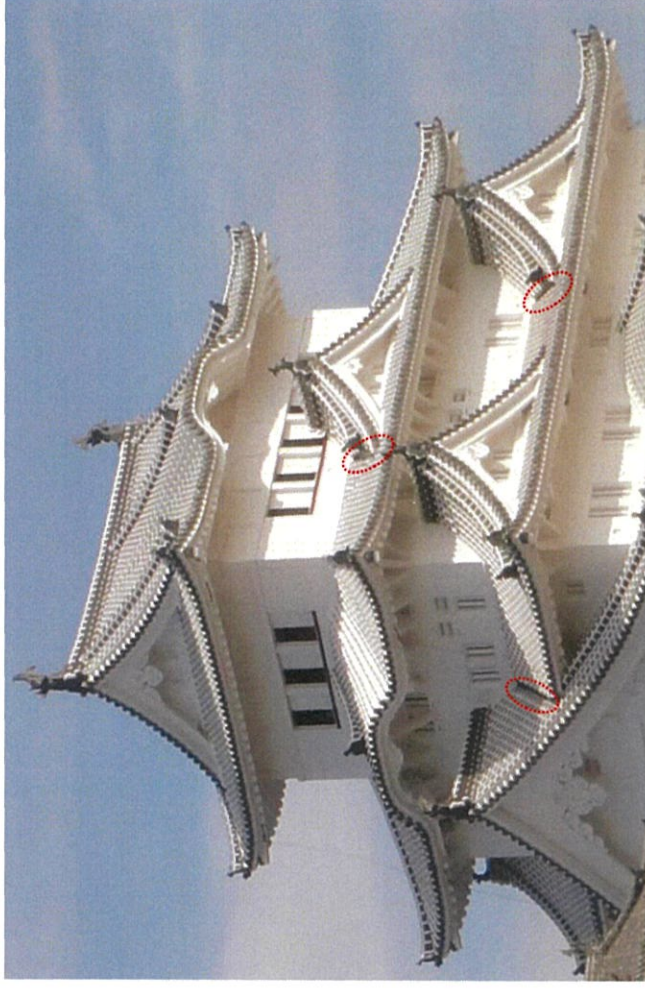
**捨て銅板事例**

平瓦敷込銅板：姫路城  
出典：国宝姫路城大天守保存整備事業公式記録集

平瓦敷軒先敷込板金：東本願寺  
出典：真宗本願寺等修復御影堂工事  
屋根改修工事報告書

**復元案(防水仕様)**

- 姫路城で捨て銅板が施されている箇所について



各重屋根と破風部の取合い谷樋



出典 姫路城大天守保存修理工事報告書

- 各重屋根と破風部の取合部に設けられる谷樋（銅板）端部から連続する平瓦部（3列分）に捨て銅板が施されており、前回提案のように全て軒先に捨て銅板が施されているのではない。
- ⇒雨水の流れが集中する部分への対策